



2023 年 7 月 31 日

2023 年度 第 2 四半期 決算レポート

1-6 月実績（対 2022 年）

- ・ 売上収益は 9.9%増の 1 兆 3,928 億円
- ・ 為替一定ベースの core revenue は 6.8%増の 1 兆 3,024 億円
- ・ 為替一定ベースの調整後営業利益は 4.7%増の 4,343 億円
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益は 6.7%増の 4,428 億円
- ・ 営業利益は 8.0%増の 4,136 億円
- ・ 四半期利益は 8.7%増の 2,870 億円
- ・ 中間配当は、当初予定通り 94 円

2023 年今回見込（対前回見込）

- ・ 売上収益は 1,300 億円の上方修正
- ・ 為替一定ベースの core revenue は 310 億円の上方修正
- ・ 為替一定ベースの調整後営業利益は 20 億円の上方修正
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益は 160 億円の上方修正
- ・ 営業利益及び当期利益はそれぞれ 210 億円及び 170 億円の上方修正
- ・ フリーキャッシュフローは 760 億円の上方修正
- ・ 1 株当たりの年間配当予想は 188 円と当初予定から変更なし

財務数値の詳細については P.14「データシート」をご参照ください。

代表取締役社長 寺畠 正道 CEO コメント:

“底堅い総需要と継続的なシェア伸長による好調なモメンタムに加え、堅調なプライシングにより、JT グループは第 2 四半期も、非常に力強い実績となりました。

通期の業績予想においては、下半期における HTS（heated tobacco sticks）への投資加速化等を踏まえ、為替一定調整後営業利益においては当初業績見込みと同水準としました。財務報告ベースにおいては、当初業績見込みに比べポジティブな為替動向を反映し、上方修正いたしました。1 株当たり年間配当金予想は、当社の株主還元方針を踏まえ当初予想通り 188 円とし、中間配当は 94 円といたします。

計画通り、将来に亘る利益成長のため HTS への投資を加速化しております。6 月のチェコにおける Ploom X 上市により、現在は 6 市場で販売を開始しており、9 月にはスイスにおいて上市する予定です。海外展開は順調に進捗しており、23 年度末には 14 市場、24 年度末には 28 市場への上市を完了する見込みです。

経営理念である 4S モデル*に則り適切な経営判断を下し、グループ一丸となって通期業績見込み達成に向けて進んで行くとともに、JT Group Purpose**・各事業における Purpose の実現に向けた取り組みを継続していきます。”

* JT グループの経営理念である「4S モデル」の追求は、「お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4者の満足度を高めていく」という考え方です。私たちは、「4S モデル」の追求を通じ、中長期に亘る持続的な利益成長の実現を目指しています。この「4S モデル」を追求していくことが、企業価値の継続的な向上につながり、4者のステークホルダーにとって共通利益となるベストなアプローチであると確信しております。

**自然・社会・個人の様々なスケールで非連続な変化が起こり、事業環境の不確実性・複雑性がますます高まっている状況下において、JT グループが持続的な存在であるための方向性を明確にするものとして、JT Group Purpose「心の豊かさを、もっと。」を策定いたしました。時代や人により、多様で、変化していく「心の豊かさ」の領域を、今後も社会から任せられ、貢献できる存在であり続けるため、絶えず進化してまいります。

投資家説明会

投資家説明会は、2023年7月31日、東京時間 17時00分より行います。

投資家説明会資料等については、JTウェブサイトからご覧になれます。(<https://www.jti.co.jp/investors/index.html>)

超インフレ会計適用及びハイパーインフレーションに伴う調整について

当社グループは、2020 年度第3 四半期より IAS 第29 号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの2022 年度、2023 年度実績及び2023 年度見込は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績及び見込は、特定のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について、一定の算定方法を用いて控除しています。なお、2023 年度第2 四半期時点では、エチオピア、イラン、スーダン、トルコが含まれています。

2023 年度 第 2 四半期 全社及び事業別実績

全社実績

(億円)	2023 年 4-6 月	2022 年 4-6 月	増減率	2023 年 1-6 月	2022 年 1-6 月	増減率
売上収益	7,275	6,853	+6.2%	13,928	12,668	+9.9%
調整後営業利益	2,195	2,200	-0.2%	4,428	4,149	+6.7%
営業利益	2,072	2,046	+1.2%	4,136	3,830	+8.0%
四半期利益	1,423	1,400	+1.7%	2,870	2,641	+8.7%
為替一定ベース core revenue	7,078	6,595	+7.3%	13,024	12,191	+6.8%
為替一定ベース 調整後営業利益	2,296	2,200	+4.4%	4,343	4,149	+4.7%

2023 年 4-6 月

- 売上収益**
 売上収益については、全ての事業において増収したことにより、前年同期比 6.2%増の 7,275 億円となりました。為替一定ベースの core revenue については、前年同期比 7.3%増の 7,078 億円となりました。
- 調整後営業利益**
 為替一定ベースの調整後営業利益については、全ての事業において増益したことにより、前年同期比 4.4%増の 2,296 億円となりました。財務報告ベースでは、一部現地通貨安を主因としたネガティブな為替影響により、前年同期比 0.2%減の 2,195 億円となりました。
- 営業利益**
 営業利益については、たばこ事業における商標権償却費の減少影響が、調整後営業利益の減少を上回り、前年同期比 1.2%増の 2,072 億円となりました。
- 四半期利益**
 四半期利益については、営業利益の増加等により、前年同期比 1.7%増の 1,423 億円となりました。

2023 年 1-6 月

- 売上収益**
 売上収益については、たばこ事業及び医薬事業における増収に加えて、たばこ事業における円安に伴うポジティブな為替影響により、前年度比 9.9%増の 1 兆 3,928 億円となりました。為替一定ベースの core revenue については、前年度比 6.8%増の 1 兆 3,024 億円となりました。
- 調整後営業利益**
 為替一定ベースの調整後営業利益については、全ての事業において増益したことにより、前年度比 4.7%増の 4,343 億円となりました。財務報告ベースでは、円安に伴うポジティブな為替影響により、前年度比 6.7%増の 4,428 億円となりました。
- 営業利益**
 営業利益については、調整後営業利益の増加等により、前年度比 8.0%増の 4,136 億円となりました。

- **四半期利益**

当期利益については、営業利益の増加及び法人税負担の減少影響が金融損益の悪化を上回り、前年度比 8.7%増の 2,870 億円となりました。

事業別実績

たばこ事業

(億円)	2023 年 4-6 月	2022 年 4-6 月	増減率	2023 年 1-6 月	2022 年 1-6 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	6,381	6,032	+5.8% (+7.3%)*	12,172	11,053	+10.1% (+6.8%)*
調整後営業利益	2,250	2,278	-1.2% (+3.2%)*	4,502	4,251	+5.9% (+3.9%)*
参考 (億本、億円)						
総販売数量	1,392	1,342	+3.7%	2,693	2,628	+2.5%
Combustibles 販売数量	1,370	1,322	+3.7%	2,652	2,587	+2.5%
RRP 販売数量	21	21	+4.7%	42	40	+3.9%
RRP 関連売上収益	192	201	-4.4%	395	391	+0.8%

*為替一定ベース

2023 年 4-6 月

・ 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

財務報告ベースの自社たばこ製品売上収益は、EMA を中心としたポジティブな数量差影響 56 億円、EMA 及び Western Europe を中心としたポジティブな単価差/商品構成影響 381 億円が、ネガティブな為替影響を上回り、前年同期比で 5.8%増加しています。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、前年同期比で 7.3%増加しています。RRP 関連売上収益は、RRP 販売数量における前年との不利な比較により、前年同期と比べて 4.4%減少しています。

財務報告ベースの調整後営業利益は、ネガティブな為替影響により、前年同期比で 1.2%減少しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、ポジティブな単価差/商品構成影響が、ネガティブな数量差影響及び Ploom X の地理的拡大を含むコストの増加を上回り、前年同期比 3.2%増加しています。

・ 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量は、EMA での伸長が、Asia 及び Western Europe における総需要減少の影響を上回ったことにより、前年同期比 3.7%の増加となりました。Combustibles 販売数量は、Winston 及び Camel の伸長（それぞれ+11.8%、+21.3%）及び市場シェアの伸張により、前年同期比 3.7%の増加となりました。RRP 販売数量は、ロシアにおける Ploom S の販売終了といった一時的な減少要因があるものの、4.7%の増加となりました。一時的な要因を除いた場合、日本市場において HTS 販売数量が 41.8%成長したことや欧州における Ploom X の新規投入により、RRP 販売数量は大幅な成長となりました。

市場シェア²は、日本・フィリピン・ルーマニア・ロシア・スペイン・台湾といった主要市場を中心に継続的に伸張しています。

2023 年 1-6 月

・ 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

財務報告ベースの自社たばこ製品売上収益は、Asia 及び EMA を中心としたポジティブな数量差影響 51 億円、EMA 及び Western Europe を中心としたポジティブな単価差/商品構成影響 703 億円、ポジティブな為替影響により、前年同期と比べて 10.1%増加しています。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、前年同期比 6.8%増加しています。RRP 関連売上収益は、RRP 販売数量における前年との不利な比較があったものの、前年

同期と比べて 0.8%増加しています。

財務報告ベースの調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の増加及びポジティブな為替影響が、ネガティブな数量影響、インフレによるコストの増加及び Ploom X の地理的拡大を含む投資の増加を上回り、前年同期比 5.9%増加しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、前年同期比 3.9%増加しています。

- **販売数量及び市場シェア¹**

総販売数量は、Asia 及び EMA における、継続的なシェアの伸張及び一部市場における堅調な総需要トレンドが、スペイン及び英国を中心とした Western Europe における総需要減少を上回ったことにより、前年同期比 2.5%の増加となりました。Combustibles 販売数量は、Winston 及び Camel の伸長（それぞれ+7.6%、+18.3%）により、前年同期比 2.5%の増加となりました。RRP 販売数量は、4-6 月期と同様の一時的な減少要因があるものの、3.9%の増加となりました。一時的な要因を除いた場合、日本市場において HTS 販売数量が 46.4%成長したことや欧州における PloomX の新規投入により、RRP 販売数量は大幅な成長となりました。

市場シェア² は、イタリア・日本・フィリピン・ロシア・スペイン・台湾といった主要市場を中心に継続的に伸張しています。

たばこ事業 クラスター別 実績

Asia

(億円)	2023 年 1-6 月	2022 年 1-6 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	3,926	4,005	-2.0% (-3.3%)*
調整後営業利益	1,452	1,565	-7.2% (-7.0%)*

参考 (億本)

総販売数量	635	632	+0.5%
-------	-----	-----	-------

*為替一定ベース

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

自社たばこ製品売上収益は、日本を中心としたポジティブな数量差影響及びポジティブな為替影響が発現したものの、日本を中心としたネガティブな単価差/商品構成影響により、前年同期比 2.0%減少しました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、前年同期比 3.3%減少しました。

調整後営業利益は、コストの減少があったものの、ネガティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期比 7.2%減少しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、前年同期と比べて 7.0%減少しました。

- **販売数量及び市場シェア¹**

総販売数量及び GFB 販売数量は、バングラデシュ・日本・マレーシア・ミャンマーにおける伸長により、前年同期比でそれぞれ 0.5%、7.9%増加しました。GFB 販売数量においては、インドネシア・フィリピンにおける Camel の伸長も貢献しました。市場シェアは、バングラデシュ・日本・マレーシア・フィリピン・シンガポール・韓国・台湾において伸張しました。

- **市場別実績¹**

日本における総販売数量は、Combustibles 及び RRP のカテゴリ内シェア伸張、並びに RRP の総需要伸長（+13.7%）等による堅調な総需要トレンドにより、前年同期比 3.2%の増加となりました。市場シェアは、前年同期比 0.7 パーセントポイント増の 42.8%になりました。

Combustibles 販売数量は、カテゴリ内シェアの伸張が combustibles 総需要の減少を上回ったことにより、前年

同期比 1.4%の増加となりました。Combustibles カテゴリ内シェアは、MEVIUS E-series 及び Camel Craft の牽引により、前年同期比 3.5 パーセントポイント増の 60.7%になりました。Combustibles 総需要は、前年同期と比べて 4.4%減少したものと推計しています。

RRP 販売数量は、前年同期と比べて 20.7%増加しました。RRP 市場占有率(出荷ベース)は、37.3%と推計しています。RRP カテゴリ内シェアは、前年同期比 0.7 パーセントポイント増の 12.7%になりました。Ploom X の販売数量は、前年同期と比べて 46.4%増加しました。HTS カテゴリ内シェアは引き続き伸張し、前年同期比 2.0 パーセントポイント増の 9.4%になりました。

自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響が発現したものの、ネガティブな単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ減少しました。

フィリピン²における総販売数量は、増税に伴う値上げにより総需要が減少したことにより、前年同期比で 4.7%減少しました。GFB 販売数量は、Camel の伸長により、36.5%増加しました。市場シェアは、Winston 及び Camel のシェア伸張により、前年同期比 3.5 パーセントポイント増の 40.1%と推計しています。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を上回り、前年同期と比べ増加しました。

台湾²における総販売数量及び GFB 販売数量は、渡航制限の段階的な緩和に伴う総需要の減少により、前年同期と比べてそれぞれ 2.7%、3.4%減少しました。市場シェアは、Winston 及び LD の伸張により、前年同期比 1.4 パーセントポイント増の 50.1%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ減少しました。

Western Europe

(億円)	2023 年 1-6 月	2022 年 1-6 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	3,030	2,679	+13.1% (+5.5%)*
調整後営業利益	1,379	1,282	+7.5% (+4.0%)*

参考 (億本)

総販売数量	535	559	-4.2%
--------------	------------	-----	-------

*為替一定ベース

・ 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな為替影響により、前年同期比 13.1%増加しました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、主にフランス・ドイツ・スペイン・英国で発現したポジティブな単価差/商品構成影響が、英国を中心に発現したネガティブな数量差影響を上回ったことにより、前年同期比 5.5%増加しました。

調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の増加及びポジティブな為替影響が、Ploom X 海外展開を含むコストの増加を上回り、前年同期比 7.5%増加しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、前年同期比 4.0%増加しました。

・ 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量及び GFB 販売数量は、市場シェアが引き続き伸張したものの、フランス・ドイツ・スペイン・英国を中心とした多くの市場における総需要の減少により、前年同期と比べてそれぞれ 4.2%、0.9%減少しました。市場シェアは、ベルギー・フランス・ドイツ・イタリア・ルクセンブルク・オランダ・スペインにおいて伸張しました。

- **市場別実績¹**

イタリアにおける総販売数量は、市場シェアの伸張及び新規展開した Ploom X の貢献により、前年同期と比べて 1.6%増加しました。ポジティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年同期と比べて 0.9%増加しました。GFB 販売数量は、Winston の伸長により、前年同期比 0.5%増加しました。市場シェアは、前年同期比 0.1 パーセントポイント増の 22.9%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響があったものの、ネガティブな単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ減少しました。

スペインにおける総販売数量は、段階的な渡航制限緩和に伴う総需要の減少により、前年同期と比べて 5.3%減少しました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年同期比 1.7%の減少となりました。GFB 販売数量は、市場シェアが前年同期と同水準の 28.0%であったことにより、前年同期比 5.4%減少しました。リーディングブランドである Winston の市場シェアは伸張しました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を上回り、前年同期と比べて増加しました。

英国における総販売数量は、渡航制限の緩和及び増税に伴う値上げによる総需要減少と同水準の減少幅により、前年同期と比べて 17.7%減少となりました。市場シェアは、Benson & Hedges が前年同期と比べて 1.0 パーセントポイント増加したものの、前年同期比 0.6 パーセントポイント減の 44.0%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を上回り、前年同期と比べて増加しました。

EMA

(億円)	2023 年 1-6 月	2022 年 1-6 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	5,217	4,369	+19.4% (+16.9%)*
調整後営業利益	1,672	1,404	+19.0% (+16.0%)*

参考 (億本)

総販売数量	1,524	1,437	+6.0%
--------------	--------------	-------	-------

*為替一定ベース

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな為替影響により、前年同期比 19.4%増加しました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、Global Travel Retail を中心に発現したポジティブな数量差影響、及びポジティブな単価差/商品構成影響により、前年同期比 16.9%増加しました。

調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の増加及びポジティブな為替影響がコストの増加を上回り、前年同期比 19.0%増加しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、前年同期比 16.0%増加しました。

- **販売数量及び市場シェア¹**

総販売数量及び GFB 販売数量は、主にアゼルバイジャン・エジプト・イラン・トルコ・Global Travel Retail における増加により、前年同期と比べてそれぞれ 6.0%、10.3%増加しました。市場シェアは、アゼルバイジャン・ブラジル・カナダ・チェコ・イラン・ヨルダン・レバノン・ロシア・サウジアラビア・南アフリカ・タンザニア・米国において伸張しました。

- **市場別実績¹**

ルーマニアにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、Combustibles 総需要の減少をアウトパフォームしたこと

で、前年同期と比べてそれぞれ 4.8%、20.4%増加しました。市場シェアは、Camel の伸張もあり、27.2%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響により、前年同期と比べて増加しました。

ロシアにおける総販売数量は、総需要³の減少及び Ploom S の販売終了により、前年同期と比べて 1.0%減少しました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年同期比 0.9%の減少となりました。総需要は、前年同期と比べて 2.7%減少したものと推計しています。GFB 販売数量は、市場シェアの伸張により、前年同期と比べて 3.7%増加しました。市場シェアは、Winston 及び Camel の伸張により、前年同期比で 0.4 パーセントポイント増の 37.0%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を上回ったことで、前年同期と比べて増加しました。

トルコ²における総販売数量は、前年との有利な比較及び 6 月に実施した値上げに伴う一時的な在庫積み増しによる総需要の増加により、前年同期と比べて 16.4%増加しました。GFB 販売数量は、Winston、Camel 及び LD の伸長により、前年同期と比べて 17.3%増加しました。市場シェアは、Winston の伸張があったものの、前年同期比 0.8 パーセントポイント減の 27.2%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べて増加しました。

¹ 出典：市場シェアは、JT グループ内部データ等。特に言及がない限り、市場シェアは 2023 年 1 月から 6 月までの平均ベース。6 カ月平均市場シェアの増減算出の比較対象は前年同期との比較。なお、ブラジル・ドイツ・イタリア・レバノン・オランダ・フィリピン・サウジアラビア・韓国・タンザニア・米国は 2023 年 1 月から 5 月までの平均ベース。

² 2023 年度より、全ての市場において、市場シェアは Combustibles 及び HTP（Heated tobacco products）の総需要を基に算出（フィリピン・台湾の市場シェアは combustibles のみ、トルコの市場シェアは RMC のみ。日本及びロシアについては変更なし）。

³ 出典：JT グループ内部データ。RMC 及び HTS を対象とする 2023 年 1-6 月期の対前年同期比較。

医薬事業

(億円)	2023 年 4-6 月	2022 年 4-6 月	増減	2023 年 1-6 月	2022 年 1-6 月	増減
売上収益	227	180	+47	477	393	+84
調整後営業利益	31	3	+28	100	49	+52

2023 年 4-6 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、導出品のライセンス契約に係る一時金収入及び当社の連結子会社である鳥居薬品の増収により、前年同期比で増収となりました。

調整後営業利益については、売上収益の増収により、研究開発費の増加があったものの、前年同期比で増益となりました。

2023 年 1-6 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益及び調整後営業利益は、23 年 4-6 月期と同様の要因により、前年同期比で増収増益となりました。

加工食品事業

(億円)	2023 年 4-6 月	2022 年 4-6 月	増減	2023 年 1-6 月	2022 年 1-6 月	増減
売上収益	378	378	+0	734	735	-1
調整後営業利益	15	10	+5	29	14	+15

2023 年 4-6 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、ベーカリー事業の譲渡による売上収益の剥落があるものの、冷食・常温事業における前年度及び今年度を実施した価格改定に加えて、外食需要の回復による業務用製品の増収により、前年同期と同水準となりました。

調整後営業利益は、前年度と比較して更なる原材料費や物流費の増加及び為替のネガティブ影響が発現しているものの、前年度及び今年度における価格改定効果や業務用製品の増収により、前年同期比で増益となりました。

2023 年 1-6 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、23 年 4-6 月期と同様の要因により、前年同期と同水準となりました。

調整後営業利益も、23 年 4-6 月期と同様の要因により、前年同期比で増益となりました。

2023 年度 修正見込

全社見込

(億円)	2023 年 今回見込	2023 年 当初見込	対当初見込	対前年実績
売上収益	27,590	26,290	+1,300	+3.8%
調整後営業利益	6,830	6,670	+160	-6.2%
営業利益	6,330	6,120	+210	-3.1%
当期利益	4,570	4,400	+170	+3.2%
フリー・キャッシュ・フロー	4,780	4,020	+760	-
為替一定ベース core revenue	26,370	26,060	+310	+3.2%
為替一定ベース 調整後営業利益	7,300	7,280	+20	+0.3%
基本的 EPS (円) *	257.46	247.91	+9.55	+3.9%

*基本的 EPS は当期利益を基に算定

- 売上収益**
 財務報告ベースの売上収益については、全ての事業において売上収益を上方修正したこと及び為替前提の見直しにより、当初見込より 1,300 億円上方修正し、前年度比 3.8%増の 2 兆 7,590 億円を見込んでいます。
- 調整後営業利益**
 為替一定ベースの調整後営業利益については、加工食品事業において調整後営業利益を上方修正したものの、たばこ事業及び医薬事業において当初見込を据え置いたことにより、当初見込と同水準の 7,300 億円を見込んでいます。
 財務報告ベースでの調整後営業利益は、多くの通貨の為替前提を円安方向に見直したことにより、当初見込より 160 億円上方修正し、前年度比 6.2%減の 6,830 億円を見込んでいます。
- 営業利益及び当期利益**
 営業利益については、調整後営業利益の上方修正に加えて、調整項目における不動産売却益の増加を見込むことにより、当初見込より 210 億円上方修正し、前年度比 3.1%減の 6,330 億円を見込んでいます。
 当期利益については、営業利益の上方修正及び法人税負担の減少が金融損益の悪化影響を上回り、当初見込より 170 億円上方修正し、前年度比 3.2%増の 4,570 億円を見込んでいます。
- フリー・キャッシュ・フロー**
 フリー・キャッシュ・フローについては、調整後営業利益の上方修正に加えて運転資本の改善等により、当初見込より 760 億円増の 4,780 億円を見込んでいます。

事業別見込

たばこ事業

(億円)	2023 年 今回見込	2023 年 当初見込	対当初見込	対前年実績
自社たばこ製品売上収益	24,000	22,930	+1,070	+3.7% (+3.1%)*
調整後営業利益	7,100	6,960	+140	-5.8% (+0.4%)*

*為替一定ベース 対前年度増減率

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

自社たばこ製品売上収益は、底堅い総需要トレンド及びシェアの伸張による力強い総販売数量、力強いプライシング効果並びに当初の想定を上回る円安の進行により、前回見込より 1,070 億円上方修正し、前年度比 3.7% の増加となる見込みです。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、前年度比 3.1% の増加となる見込みです。

調整後営業利益は、当初の想定を上回る円安の進行により、前回見込より 140 億円上方修正し、前年度比 5.8% の減少となる見込みです。為替一定ベースの調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の上方修正はあるものの、Ploom X 海外展開を含む事業投資強化、インフレに伴う間接コストの増加及びスーダンにおける事業一時停止影響を含む一時的なネガティブ要因により、当初見込と同じく、前年度比 0.4% の増加となる見込みです。

- **販売数量**

総販売数量は、総需要及び市場シェアが堅調であった 1-6 月期の実績を反映し、上方修正しています。総販売数量は今回見込では前年度比 1% 程度の減少となる見込みです。

医薬事業

(億円)	2023 年 今回見込	2023 年 当初見込	対当初見込	対前年実績
売上収益	920	895	+25	+91
調整後営業利益	135	135	-	+24

- 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、当社連結子会社の鳥居薬品の増収見込及び円安による海外ロイヤリティ収入の増加を織り込み、25 億円上方修正し、前年度比で増収を見込んでいます。

調整後営業利益は、売上収益を上方修正したものの、研究開発費の増加を織り込み、当初見込からの変更はなく、前年度比で増益を見込んでいます。

加工食品事業

(億円)	2023 年 今回見込	2023 年 当初見込	対当初見込	対前年実績
売上収益	1,550	1,475	+75	-5
調整後営業利益	55	40	+15	+20

- 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、冷食・常温事業における外食需要の回復早期化による業務用製品の増収を織り込み、75 億円上方修正し、前年度と同水準を見込んでいます。

調整後営業利益は、売上収益を上方修正したことにより、15 億円上方修正し、前年度比で増益を見込んでいます。

データシート

2023年度 第2四半期実績

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2023 Q2累計	2022 Q2累計	増減	増減率
売上収益	13,928	12,668	+1,260	+9.9%
営業利益	4,136	3,830	+306	+8.0%
調整後営業利益	4,428	4,149	+280	+6.7%
税引前利益	3,734	3,610	+124	+3.4%
四半期利益	2,870	2,641	+229	+8.7%
基本的EPS* (円)	161.70	148.80	+12.90	+8.7%

*四半期利益を基に算定

(参考)

(単位：億円)

	2023 Q2累計	2022 Q2累計	増減	増減率
為替一定ベース core revenue	13,024	12,191	+832	+6.8%
為替一定ベース調整後営業利益	4,343	4,149	+195	+4.7%

2. 事業セグメント別実績

(単位：億円)

	2023 Q2累計	2022 Q2累計	増減	増減率
全社 売上収益	13,928	12,668	+1,260	+9.9%
たばこ事業	12,710	11,530	+1,181	+10.2%
自社たばこ製品売上収益	12,172	11,053	+1,119	+10.1%
医薬事業	477	393	+84	+21.3%
加工食品事業	734	735	-1	-0.1%
その他	7	11	-4	-35.8%
全社 営業利益	4,136	3,830	+306	+8.0%
たばこ事業	4,184	3,903	+281	+7.2%
医薬事業	100	49	+52	+106.5%
加工食品事業	38	4	+34	+808.8%
その他/消去	-187	-126	-60	-
調整合計	-293	-319	+26	
たばこ事業	-318	-348	+30	
医薬事業	-	-	-	
加工食品事業	8	-10	+19	
その他/消去	17	39	-23	
全社 調整後営業利益	4,428	4,149	+280	+6.7%
たばこ事業	4,502	4,251	+251	+5.9%
医薬事業	100	49	+52	+106.5%
加工食品事業	29	14	+15	+103.5%
その他/消去	-203	-166	-38	-

2023年度 第2四半期実績

3. 減価償却費及び償却費*

(単位：億円)

	2023 Q2累計	2022 Q2累計	増減
全社 減価償却費及び償却費	747	863	-116
たばこ事業	690	797	-107
医薬事業	20	24	-4
加工食品事業	32	33	-1
その他/消去	5	9	-4

*リース取引に係る減価償却費を除く

4. 連結財政状態データ

(単位：億円)

	2023年6月末	2022年12月末	増減
資産合計	69,744	65,481	+4,263
資本合計	39,497	36,168	+3,330
親会社の所有者に帰属する持分	38,676	35,404	+3,272
1株当たり親会社所有者帰属持分（円）	2,178.87	1,994.78	+184.10

5. 手元流動性及び有利子負債

(単位：億円)

	2023年6月末	2022年12月末	増減
手元流動性	8,965	8,804	+161
有利子負債	10,830	9,583	+1,247

6. 連結キャッシュフロー・データ

(単位：億円)

	2023 Q2累計	2022 Q2累計	増減
営業キャッシュフロー	2,069	1,102	+967
投資キャッシュフロー	-1,027	-388	-638
財務キャッシュフロー	-1,633	-1,582	-52
現金及び現金同等物の期首残高	8,669	7,217	+1,452
現金及び現金同等物に係る換算差額等	194	1,138	-943
現金及び現金同等物の期末残高	8,272	7,487	+785
FCF	1,549	730	+819

7. 資本的支出

(単位：億円)

	2023 Q2累計	2022 Q2累計	増減
資本的支出	468	363	+105
たばこ事業	402	283	+120
医薬事業	36	8	+28
加工食品事業	20	40	-21
その他/消去	10	33	-22

8. 為替

	2023 Q2累計	2022 Q2累計	増減	増減率
100円/USD	0.74	0.81	-0.07	9.6%高
100円/RUB	56.97	62.56	-5.59	9.8%高
100円/GBP	0.60	0.63	-0.03	4.2%高
100円/EUR	0.69	0.74	-0.06	8.5%高
100円/CHF	0.68	0.77	-0.09	13.6%高
100円/TWD	22.65	23.36	-0.71	3.1%高
100円/TRY*	17.92	12.20	5.72	31.9%安
100円/PHP	40.95	42.43	-1.48	3.6%高

*IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表を日本円へ換算する際には、2023年6月末日及び2022年6月末日レートを適用。

2023年度 今回見込
(2023/7/31公表)

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2023 今回見込	2022 実績	増減	増減率
売上収益	27,590	26,578	+1,012	+3.8%
営業利益	6,330	6,536	-206	-3.1%
調整後営業利益	6,830	7,278	-448	-6.2%
当期利益	4,570	4,427	+143	+3.2%

(参考)

(単位：億円)

	2023 今回見込	2022 実績	増減	増減率
為替一定ベース core revenue	26,370	25,557	+813	+3.2%
為替一定ベース調整後営業利益	7,300	7,278	+22	+0.3%

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2023 今回見込	2022 実績	増減	増減率
基本的EPS*	257.46	249.45	+8.01	+3.2%
1株当たり配当金	188	188	-	-
ROE*	12.5%	13.9%	-1.5ppt	

*基本的EPS/ROEは当期利益を基に算定

3. 事業セグメント別見込

(単位：億円)

	2023 今回見込	2022 実績	増減	増減率
全社 売上収益	27,590	26,578	+1,012	+3.8%
たばこ事業	25,100	24,174	+926	+3.8%
自社たばこ製品売上収益	24,000	23,152	+848	+3.7%
医薬事業	920	829	+91	+11.0%
加工食品事業	1,550	1,555	-5	-0.3%
その他	20	20	+0	+1.2%
全社 営業利益	6,330	6,536	-206	-3.1%
たばこ事業	6,500	6,794	-294	-4.3%
医薬事業	135	111	+24	+21.1%
加工食品事業	60	42	+18	+43.8%
その他/消去	-365	-411	+46	-
全社 調整後営業利益	6,830	7,278	-448	-6.2%
たばこ事業	7,100	7,540	-440	-5.8%
医薬事業	135	111	+24	+21.1%
加工食品事業	55	35	+20	+56.8%
その他/消去	-460	-409	-51	-

**2023年度 今回見込
(2023/7/31公表)**

4. FCF

(単位：億円)

	2023 今回見込	2022 実績	増減
FCF	4,780	3,829	+951

5. 資本的支出

(単位：億円)

	2023 今回見込	2022 実績	増減
資本的支出	1,310	1,010	+300
たばこ事業	1,100	838	+262
医薬事業	80	24	+56
加工食品事業	65	82	-17
その他/消去	65	66	-1

6. 業績予想の主な前提条件

○ たばこ事業

- ・ 2023年の総販売数量：対前年で1%程度の減少(2022年の総販売数量は5,273億本)
- ・ 2023年のGFB販売数量：対前年で3%程度の増加(2022年のGFB販売数量は3,624億本)

<為替前提レート>

	2023 今回見込	2022 実績	増減	増減率
100円/USD	0.73	0.76	-0.03	4.1%高
100円/RUB	58.80	53.06	+5.74	9.8%安
100円/GBP	0.59	0.62	-0.03	4.7%高
100円/EUR	0.66	0.73	-0.07	9.9%高
100円/CHF	0.65	0.73	-0.08	12.2%高
100円/TWD	22.04	22.72	-0.68	3.1%高
100円/PHP	40.50	41.55	-1.05	2.6%高

2023年度 今回見込 vs 当初見込
(2023/7/31公表)

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2023 今回見込	2023 当初見込	増減	増減率
売上収益	27,590	26,290	+1,300	+4.9%
営業利益	6,330	6,120	+210	+3.4%
調整後営業利益	6,830	6,670	+160	+2.4%
当期利益	4,570	4,400	+170	+3.9%

(参考)

(単位：億円)

	2023 今回見込	2023 当初見込	増減	増減率
為替一定ベースcore revenue	26,370	26,060	+310	+1.2%
為替一定ベース調整後営業利益	7,300	7,280	+20	+0.3%

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2023 今回見込	2023 当初見込	増減	増減率
基本的EPS*	257.46	247.91	+9.55	+3.9%
1株当たり配当金	188	188	-	-
ROE*	12.5%	12.4%	+0.0ppt	

*基本的EPS/ROEは当期利益を基に算定

3. 事業セグメント別売上収益

(単位：億円)

	2023 今回見込	2023 当初見込	増減	増減率
全社 売上収益	27,590	26,290	+1,300	+4.9%
たばこ事業	25,100	23,900	+1,200	+5.0%
自社たばこ製品売上収益	24,000	22,930	+1,070	+4.7%
医薬事業	920	895	+25	+2.8%
加工食品事業	1,550	1,475	+75	+5.1%
その他	20	20	-	-
全社 営業利益	6,330	6,120	+210	+3.4%
たばこ事業	6,500	6,360	+140	+2.2%
医薬事業	135	135	-	-
加工食品事業	60	40	+20	+50.0%
その他/消去	-365	-415	+50	-
全社 調整後営業利益	6,830	6,670	+160	+2.4%
たばこ事業	7,100	6,960	+140	+2.0%
医薬事業	135	135	-	-
加工食品事業	55	40	+15	+37.5%
その他/消去	-460	-465	+5	-

2023年度 今回見込 vs 当初見込
(2023/7/31公表)

4. FCF

(単位：億円)

	2023 今回見込	2023 当初見込	増減
FCF	4,780	4,020	+760

5. 資本的支出

(単位：億円)

	2023 今回見込	2023 当初見込	増減
資本的支出	1,310	1,300	+10
たばこ事業	1,100	1,075	+25
医薬事業	80	50	+30
加工食品事業	65	110	-45
その他/消去	65	65	-

6. 業績予想の主な前提条件の修正

たばこ事業	今回見込	当初見込
総販売数量	1%程度の減少	1.5~2.0%程度の減少
GFB販売数量	3%程度の増加	0.5~1.0%程度の減少

<為替前提レート>

	2023 今回見込	2023 当初見込	増減	増減率
100円/USD	0.73	0.77	-0.04	5.5%高
100円/RUB	58.80	53.80	+5.00	8.5%安
100円/GBP	0.59	0.64	-0.05	8.5%高
100円/EUR	0.66	0.73	-0.07	10.6%高
100円/CHF	0.65	0.72	-0.07	10.8%高
100円/TWD	22.04	23.85	-1.81	8.2%高
100円/PHP	40.50	43.00	-2.50	6.2%高

たばこ事業データ

1. サマリー

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	
総販売数量	1,302	1,392			2,693	億本
(前年同期比)	+1.3%	+3.7%			+2.5%	
Combustibles販売数量	1,282	1,370			2,652	億本
(前年同期比)	+1.2%	+3.7%			+2.5%	
GFB販売数量	910	1,015			1,925	億本
(前年同期比)	+4.2%	+10.5%			+7.4%	
RRP販売数量	20	21			42	億本
(前年同期比)	+3.0%	+4.7%			+3.9%	
自社たばこ製品売上収益	5,791	6,381			12,172	億円
(前年同期比)	+15.3%	+5.8%			+10.1%	
	(+6.3%)*	(+7.3%)*			(+6.8%)*	
RRP関連売上収益	203	192			395	億円
(前年同期比)	+6.4%	-4.4%			+0.8%	
調整後営業利益	2,251	2,250			4,502	億円
(前年同期比)	+14.1%	-1.2%			+5.9%	
	(+4.6%)*	(+3.2%)*			(+3.9%)*	

*為替一定ベース

2. 自社たばこ製品売上収益実績 要因

(億円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	5,020	6,032			11,053
数量差	-5	+56			+51
単価差/Mix	+321	+381			+703
2023為替一定	5,336	6,470			11,806
FX	+455	-89			+366
2023	5,791	6,381			12,172

3. 調整後営業利益実績 要因

(億円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	1,973	2,278			4,251
数量差	-30	-64			-94
単価差/Mix	+324	+335			+659
その他	-203	-197			-399
2023為替一定	2,065	2,352			4,417
FX	+186	-101			+85
2023	2,251	2,250			4,502

たばこ事業データ

4. クラスター別販売及び財務実績

販売数量

(億本)

Asia	2023 Q1		2023 Q2		2023 Q3	2023 Q4	YTD
総販売数量	321	+2.1%	314	-1.1%			635 +0.5%
GFB販売数量	204	+9.1%	205	+6.7%			409 +7.9%
Western Europe	2023 Q1		2023 Q2		2023 Q3	2023 Q4	YTD
総販売数量	261	-5.2%	274	-3.3%			535 -4.2%
GFB販売数量	183	-2.1%	194	+0.1%			378 -0.9%
EMA	2023 Q1		2023 Q2		2023 Q3	2023 Q4	YTD
総販売数量	720	+3.4%	804	+8.4%			1,524 +6.0%
GFB販売数量	523	+4.7%	615	+15.7%			1,138 +10.3%

財務

(億円)

Asia	2023 Q1		2023 Q2		2023 Q3	2023 Q4	YTD
自社たばこ製品売上収益	1,962	+1.7%	1,964	-5.3%			3,926 -2.0%
		(-1.0%)*		(-5.4%)*			(-3.3%)*
調整後営業利益	758	+0.2%	693	-14.2%			1,452 -7.2%
		(+0.5%)*		(-14.1%)*			(-7.0%)*
Western Europe	2023 Q1		2023 Q2		2023 Q3	2023 Q4	YTD
自社たばこ製品売上収益	1,405	+12.2%	1,625	+13.9%			3,030 +13.1%
		(+4.7%)*		(+6.2%)*			(+5.5%)*
調整後営業利益	647	+5.8%	731	+9.1%			1,379 +7.5%
		(+3.3%)*		(+4.6%)*			(+4.0%)*
EMA	2023 Q1		2023 Q2		2023 Q3	2023 Q4	YTD
自社たばこ製品売上収益	2,424	+31.8%	2,792	+10.4%			5,217 +19.4%
		(+15.1%)*		(+18.2%)*			(+16.9%)*
調整後営業利益	846	+40.0%	826	+3.2%			1,672 +19.0%
		(+11.3%)*		(+19.6%)*			(+16.0%)*

*為替一定ベース

たばこ事業データ

5. クラスター別自社たばこ製品売上収益実績 要因

(億円)

Asia	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	1,929	2,075			4,005
数量差	+44	+2			+46
単価差/Mix	-64	-114			-178
2023為替一定	1,909	1,963			3,873
FX	+52	+1			+53
2023	1,962	1,964			3,926

Western Europe	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	1,252	1,427			2,679
数量差	-86	-94			-180
単価差/Mix	+145	+182			+327
2023為替一定	1,311	1,515			2,825
FX	+94	+110			+204
2023	1,405	1,625			3,030

EMA	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	1,839	2,530			4,369
数量差	+36	+148			+184
単価差/Mix	+241	+314			+555
2023為替一定	2,116	2,992			5,108
FX	+308	-200			+109
2023	2,424	2,792			5,217

6. クラスター別調整後営業利益実績 要因

(億円)

Asia	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	757	807			1,565
数量差	+37	-60			-23
単価差/Mix	-62	-108			-170
その他	+29	+54			+83
2023為替一定	761	694			1,455
FX	-2	-1			-3
2023	758	693			1,452

Western Europe	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	612	670			1,282
数量差	-99	-69			-168
単価差/Mix	+160	+150			+310
その他	-41	-50			-92
2023為替一定	632	701			1,333
FX	+15	+30			+46
2023	647	731			1,379

EMA	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	604	800			1,404
数量差	+32	+64			+96
単価差/Mix	+227	+293			+519
その他	-191	-200			-391
2023為替一定	672	957			1,629
FX	+173	-131			+43
2023	846	826			1,672

たばこ事業データ

7. ブランド別 GFB販売数量 (前年同期比)

(億本)

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
Winston	462 +3.2%	528 +11.8%			990 +7.6%
Camel	232 +15.1%	256 +21.3%			488 +18.3%
MEVIUS	108 -0.4%	113 -1.1%			221 -0.8%
LD	108 -6.8%	118 -2.4%			226 -4.5%

8. 実績為替レート (前年同期比)

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
100JPY/USD	0.76 13.8%高	0.73 5.3%高			0.74 9.6%高
100JPY/RUB	54.96 34.2%高	58.98 12.9%安			56.97 9.8%高
100JPY/GBP	0.62 3.0%高	0.58 5.4%高			0.60 4.2%高
100JPY/EUR	0.70 8.8%高	0.67 8.2%高			0.69 8.5%高
100JPY/CHF	0.70 13.6%高	0.65 13.7%高			0.68 13.6%高
100JPY/TWD	22.96 4.7%高	22.33 1.5%高			22.65 3.1%高
100JPY/TRY	*	*			*
100JPY/PHP	41.43 6.9%高	40.48 0.2%高			40.95 3.6%高

*現地通貨vs 円増減率：(前年同期の現地通貨レート/各期の現地通貨レート) -1で算出

IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表を日本円へ換算する際には、2023年6月末日レートを適用。

(100円/TRY：17.92、参考100円/USD：0.69)

たばこ事業データ

9. Key markets

出典：市場シェアは、JT グループ内部データ等。特に言及がない限り、市場シェアは 2023 年 1 月から 6 月までの平均ベース。

イタリア及びフィリピン は 2023 年 1 月から 5 月までの平均ベース。

シェアは、combustibles及びheated tobacco products（HTP）のたばこ総需要に基づいて算出。

日本

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量		151	161			312
		+4.5%	+2.1%			+3.2%
Combustibles販売数量		134	143			277
		+2.6%	+0.3%			+1.4%
RRP販売数量		17	18			35
		+22.4%	+19.1%			+20.7%
HTS販売数量		12	13			25
		+51.8%	+41.8%			+46.4%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		42.7%	42.8%			42.8%	+0.7ppt
Combustibles SoM		38.0%	38.1%			38.0%	-0.1ppt
GFB (SoM)		26.5%	26.6%			26.6%	+0.7ppt
Winston (SoM)		3.9%	3.8%			3.9%	-0.6ppt
MEVIUS (SoM)		16.8%	16.7%			16.8%	-1.1ppt
Seven Stars (SoM)		4.7%	4.7%			4.7%	-0.1ppt
Camel (SoM)		5.9%	6.0%			5.9%	+2.3ppt
RRP SoM*		4.8%	4.7%			4.7%	+0.7ppt
HTS SoS		9.3%	9.5%			9.4%	+2.0ppt
Total SoV		42.8%	42.9%			42.9%	-0.1ppt

*RRP SoMは、heated tobacco sticks（HTS）及び infused tobacco capsules (Infused) の市場シェア

フィリピン*

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量		69	54			122
		+0.0%	-10.0%			-4.7%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		39.3%	41.4%			40.1%	+3.5ppt
GFB (SoM)		17.5%	19.9%			18.4%	+5.4ppt
Winston (SoM)		10.7%	11.4%			10.9%	+0.2ppt
Camel (SoM)		6.7%	8.4%			7.4%	+5.2ppt
Total SoV		36.6%	38.4%			37.3%	+2.7ppt

*SoM及びSoVは、combustiblesのみの市場シェア

台湾*

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量		35	34			70
		-1.7%	-3.6%			-2.7%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		50.0%	50.2%			50.1%	+1.4ppt
GFB (SoM)		40.8%	41.0%			40.9%	+0.8ppt
Winston (SoM)		14.1%	14.4%			14.3%	+0.5ppt
LD (SoM)		7.7%	7.8%			7.8%	+0.3ppt
MEVIUS (SoM)		18.9%	18.8%			18.8%	-0.0ppt
Total SoV		54.0%	54.2%			54.1%	+1.1ppt

*SoM及びSoVは、combustiblesのみの市場シェア

たばこ事業データ

イタリア

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本) YTD
総販売数量		48	48			96
		+1.3%	+1.9%			+1.6%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		23.1%	22.6%			22.9%	+0.1ppt
GFB (SoM)		19.4%	18.7%			19.1%	+0.1ppt
Winston (SoM)		12.7%	12.0%			12.4%	+0.4ppt
Camel (SoM)		6.6%	6.8%			6.7%	-0.3ppt
Total SoV		23.0%	22.4%			22.7%	+0.1ppt

スペイン

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本) YTD
総販売数量		37	41			78
		-6.2%	-4.6%			-5.3%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		27.9%	28.1%			28.0%	+0.0ppt
GFB (SoM)		25.8%	25.3%			25.5%	-0.2ppt
Winston (SoM)		14.7%	14.3%			14.5%	+0.0ppt
Camel (SoM)		11.0%	11.0%			11.0%	-0.2ppt
Total SoV		27.7%	28.0%			27.8%	+0.1ppt

英国

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本) YTD
総販売数量		40	39			78
		-17.1%	-18.2%			-17.7%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		44.3%	43.5%			43.9%	-0.7ppt
GFB (SoM)		0.1%	0.1%			0.1%	-0.0ppt
Amber Leaf (SoM)		10.4%	10.0%			10.2%	-1.1ppt
Sterling (SoM)		12.9%	12.2%			12.5%	-1.0ppt
Benson & Hedges (SoM)		11.2%	11.4%			11.3%	+1.0ppt
Total SoV		45.0%	44.6%			44.8%	-0.6ppt

たばこ事業データ

ルーマニア

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本)
						YTD
総販売数量		17	19			37
		+5.7%	+4.1%			+4.8%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		27.2%	27.2%			27.2%	-0.1ppt
GFB (SoM)		17.3%	17.5%			17.4%	+1.8ppt
Winston (SoM)		12.0%	11.8%			11.9%	-1.8ppt
Camel (SoM)		4.9%	5.5%			5.2%	+4.1ppt
Total SoV		28.0%	28.0%			28.0%	-0.2ppt

ロシア

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本)
						YTD
総販売数量		176	200			376
		-4.5%	+2.4%			-1.0%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		36.5%	37.4%			37.0%	+0.4ppt
GFB (SoM)		27.7%	29.3%			28.5%	+1.2ppt
Winston (SoM)		11.8%	12.9%			12.4%	+0.4ppt
Camel (SoM)		8.2%	8.5%			8.4%	+0.8ppt
LD (SoM)		7.5%	7.8%			7.7%	+0.0ppt
Total SoV		37.7%	38.6%			38.2%	+0.8ppt

トルコ*

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本)
						YTD
総販売数量		72	108			180
		+7.7%	+23.1%			+16.4%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		27.2%	27.1%			27.2%	-0.8ppt
GFB (SoM)		25.0%	24.9%			24.9%	-0.6ppt
Winston (SoM)		17.2%	17.2%			17.2%	+0.4ppt
Camel (SoM)		5.7%	5.5%			5.6%	-0.7ppt
LD (SoM)		2.1%	2.1%			2.1%	-0.2ppt
Total SoV		26.5%	26.3%			26.4%	-0.8ppt

*SoM及びSoVは、RMCのみの市場シェア

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2023 年 7 月 31 日)

<自社開発品>

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階 (実施地域)	起源	備考
JTE-052 (delgocitinib)	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase1 (国内)	自社品	
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase2 (国内)	自社品	
				Phase2 (海外)		
JTT-662	2型糖尿病 /経口	SGLT1阻害	SGLT1を阻害し、食後高血糖の是正及び血糖値の正常化を行う	Phase1 (海外)	自社品	
JTT-861	慢性心不全 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するビルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化し、心機能を改善する	Phase1 (海外)	自社品	
JTE-061 (tapinarof)	アトピー性皮膚炎 /外用	AhR モジュレーター	アリル炭化水素受容体 (AhR) を活性化し、皮膚の炎症を抑制する	Phase3 (国内)	導入品	・ Dermavant Sciences GmbH社から導入 ・ 鳥居薬品と共同開発
	尋常性乾癬 /外用			Phase3 (国内)		
	小児アトピー性皮膚炎 /外用			Phase2 (国内)		
JTC-064	神経変性疾患 /経口	PDHK阻害	ビルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化し、代謝異常を是正する	Phase1 (海外)	自社品	
JTV-161	肺動脈性肺高血圧症 /経口	Pim-1阻害	Pim-1を阻害し、肺血管細胞の異常増殖を抑制する	Phase1 (海外)	自社品	
JTE-162	自己炎症・自己免疫疾患/ 経口	NLRP3阻害	NLRP3インフラマソームの活性化を抑制し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase1 (海外)	自社品	

(※) 開発段階の表記は投薬開始を基準としています。

(※) 掲載以外に、将来の剤型追加の可能性を検討するための臨床試験を行っています。

<導出品>

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序		備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	
抗ICOS抗体	AstraZeneca社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	
delgocitinib	LEO Pharma社 ロート製薬社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	
enarodustat	JW Pharmaceutical社 Salubris社	HIF-PH阻害	HIF-PHを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	

前回公表時（2023年5月2日）からの変更点

・ JTE-162（自己炎症・自己免疫疾患/経口）：新規臨床入り（海外Phase1）

・ enarodustat（HIF-PH阻害）：導出先のSalubris社が、エナロデュスタット錠（恩那罗®）の中国における新薬承認を発表

用語の定義

用語	定義
売上収益	たばこ税及びその他の代理取引取扱高を除いた売上収益
為替一定ベース core revenue	前年同期の為替レートをを用いて換算／算出することにより為替影響を除いた自社たばこ製品売上収益＋医薬事業・加工食品事業・その他の売上収益。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではない
調整後営業利益	営業利益＋買収に伴い生じた無形資産に係る償却費＋調整項目（収益及び費用）＊ ＊調整項目（収益及び費用）＝のれんの減損損失±ストラクチャリング収益及び費用等
為替一定ベース	前年同期の為替レートをを用いて換算／算出することにより、為替影響を除いた指標。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではない
四半期利益／当期利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益／当期利益
自社たばこ製品売上収益	物流事業／製造受託等を除く売上収益
RRP 関連売上収益	自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス／関連アクセサリ等を含む Reduced-Risk Products の売上
Combustibles	製造受託／水たばこ／加熱式たばこ／無煙たばこ／E-Vapor を除く可燃性のたばこ製品
RMC	紙巻たばこ（Ready-Made-Cigarettes）
Fine cut tobacco (FCT)	一般的にお客様ご自身で、巻紙を用いて手巻きする、または、器具と筒状の巻紙を用いて RMC を作成するための刻みたばこ
シガリロ	たばこ葉を原料とする巻紙を使い、RMC と同様の形態に巻き上げた製品。日本マーケットにおいてはリトルシガーとも呼ばれ、たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類される
Reduced-Risk Products (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品。当社製品ポートフォリオにおける heated tobacco sticks (HTS), infused tobacco capsules (Infused), E-Vapor, 無煙たばこ製品等が含まれる
Heated tobacco products (HTP) ／加熱式たばこ	たばこ葉を使用し、たばこ葉を燃焼させずに、加熱等によって発生するたばこペイパー（たばこ葉由来の成分を含む蒸気）を愉しむ製品
Heated tobacco sticks (HTS)	高温加熱型の加熱式たばこ。1 スティック＝RMC1 本として換算
Infused tobacco capsules (Infused)	低温加熱型の加熱式たばこ。1 パック当たり RMC20 本として換算
E-Vapor／電子たばこ	たばこ葉を使用せず、装置内もしくは専用カートリッジ内のリキッド（液体）を電気加熱させ、発生するペイパー（蒸気）を愉しむ製品。クローズドタンク製品においては、1 カプセル当たり RMC20 本として換算。オープンタンク製品においては、リフィル 10ml 当たり RMC100 本として換算
無煙たばこ	口腔内で味・香りを楽しむたばこ製品（日本では嗅ぎたばこに分類）で、粉状にしたたばこ葉を包んだポーションと呼ばれる袋を口に含むものは Snus、たばこ葉を使わずニコチンを含んだパウチを口腔内で楽しむニコチンパウチと呼ぶ。Snus 及びニコチンパウチ 1 パウチ＝RMC1 本として換算

GFB (Global Flagship Brands)	Winston、Camel、MEVIUS、LD の4ブランドが含まれる
総販売数量	水たばこ／製造受託／RRP デバイス及び関連アクセサリーを除くたばこ製品の販売数量
Combustibles 販売数量	水たばこ／E-Vapor／無煙たばこ（Snus・ニコチンパウチ）／加熱式たばこ／製造受託を除くたばこ製品の販売数量
GFB 販売数量	GFB（Global Flagship Brand）に含まれる Winston、Camel、MEVIUS、LD の Combustibles 及び Snus 製品の販売数量
RRP 販売数量	Reduced-Risk Products (RRP)の販売本数（RMC として換算）。デバイス／関連アクセサリー等は含まない
HTS 販売数量	Heated tobacco sticks (HTS)の販売本数。デバイス／関連アクセサリー等は含まない
売上シェア（SoV）	販売数量と税込小売価格を掛け合わせて算出される、市場の総小売価格に対するシェア
たばこ総需要／総需要	市場全体におけるたばこ製品の本数ベースの市場規模（自社推計）
Combustibles 総需要	市場全体における Combustibles の本数ベースの市場規模（自社推計）
RRP 総需要	市場全体における Reduced-Risk Products (RRP)の本数ベース（RMC として換算）の市場規模（自社推計）
クラスター	JT グループのたばこ事業をより深く理解していただくために、同事業を3地域（Asia, Western Europe, EMA）に区分けしたものである。なお、これらのクラスターは、JT グループの経営体制を反映したものではない - Asia：日本を含むアジア全域 - Western Europe (WE)：西欧地域 - EMA：東欧、中近東、アフリカ、トルコ、南北アメリカ大陸及び Global Travel Retail を含む
Global Travel Retail (GTR)	従来の国内たばこ事業と海外たばこ事業の免税市場を統合した呼称。GTR でのパフォーマンスは、EMA クラスターに含まれる。
手元流動性	現預金＋短期保有の有価証券＋現先
有利子負債	短期借入金＋コマーシャルペーパー＋長期借入金＋社債
フリー・キャッシュ・フロー（FCF）	営業活動キャッシュ・フロー＋投資活動キャッシュ・フロー ただし以下を除く - 営業活動キャッシュ・フローから、リース取引から生じる減価償却費／利息及び配当金の受取額とその税額影響／リース取引以外から生じる利息の支払額とその税額影響／その他 - 投資活動キャッシュ・フローから、事業投資以外に係る、投資の取得による支出／投資の売却及び償還による収入／定期預金の預入による支出／定期預金の払出による収入／その他

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- （１）喫煙に関する健康上の懸念の増大
- （２）たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- （３）国内外の訴訟の動向
- （４）たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- （５）国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- （６）市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化及び需要の減少
- （７）買収やビジネスの多角化に伴う影響
- （８）国内外の経済状況
- （９）為替変動及び原材料費の変動
- （１０）自然災害及び不測の事態等

お問い合わせ先

日本たばこ産業株式会社 IR 広報部
東京都港区虎ノ門4-1-1

投資家の皆様はこちら：jt.ir@jt.com

メディアの皆様はこちら：jt-kouhou@jt.com